

Newsletter of Catholic Omiya Church

おおみや教会通信



6月号は事情によりお休みしました。購読を楽しみにしていただいた方もいらつしやたかと思ひますが申し訳ありませんでした。

さて、6月は例年に比べて気温が低かったようです。とはいえここ数年は「まだ6月なのにこんなに暑いのか？」とうんざりしていたように思ひますが、

今年はそれほどありませんでした。この調子で夏もあまり暑くなければいいな、と思ひつていますが、どうなるでしょう。台風や地震など自然災害も多いですね。他人事と思わず、日頃から備えることは大切ですね。

大宮教会では毎月第一金曜日に初金のミサとロザリオの祈りを行っているのをご存知でしたか？

初金って何？

AIによると・・・カトリックにおける「初金（はつきん）」

とは、毎月第一金曜日のことでは、17世紀に聖女マルガリータ・マリア・アラコクが受けた啓示に基づき、9ヶ月間連続してこの日にミサにあずかり聖体拝領を行うことで、イエス・キリストから特別な恵み（愛と憐れみ）をいただけるという伝統的な信心（祈り）です。・・・ということ。

【初金のミサと祈り】

（グーグル検索の抜粋）

初金は伝統的に「イエスの聖心（みこころ）」を特別に崇敬し、償いと感謝を捧げる日とされています。多くのカトリック教会では、通常の朝のミサに加え、夕方などに初金ミサや「初金の祈りの集い」、聖体賛美式など特別なお祈りを行っています。

【大宮教会での初金のミサ】

大宮教会では毎週、木曜日と金曜日、小聖堂において9:30～10:15に朝ミサに与ることが出来ます。どなたでも（未信者の方も）参加することが出来ます。

初金の朝ミサは、平日のミサの中でもちょっと特別なものと言えるでしょう。

【大宮教会での初金のロザリオの祈り】

初金のミサ後に、小聖堂でロザリオの祈りが行われています。

50年の歴史があり、観想（聖書のシーンを思い巡らすこと）を大切にしたスタイル（アヴェ・マリアを連続して唱えるのではなく、「一回ごとに聖書のメッセージを読んだからアヴェ・マリアを唱えるというやり方）で、祈りを深めます。どなたでも参加できますので、是非ご参加ください。



初聖体おめでとう

初聖体おめでとう！

6月7日の英語ミサの中で、8人の子どもたちが初聖体を受けました。

ミサの前の初めての「ゆるしの秘跡」の前は緊張でそわそわ、不安そうだったのに、ミサの後にはあふれる笑顔できらきらと輝いて見えました。神様とつながった喜びをこれからも忘れずに！おめでとうございませう。



編集前期

編集担当 川目です。とりあえずは私の都合で6月号がお休みになり申し訳ありませんでした。さて、紙面を横から縦に変更しましたがいかがでしょうか？なぜかおさまる文字数も多くなったような気がします。

文字数が多くなりましたからぜひ投稿をお願いします。長いようでしたら連載物として扱おうかな😊

【広報部から】皆様のご意見・ご感想をお寄せください Mail kouhou_rec@catholic-omiya.org

<信徒委員会・各部からのお知らせ>

信徒委員会

○聖母被昇天ミサ

8月15日(土) 11:00

(8月16日(日)は普通の主日のミサです。10:00〜ロザリオの祈りがあります。)

平日の朝ミサ

毎週木・金曜日 9:30

(小聖堂)

○財務部から

財務部長交代のお知らせ

2026年度信徒委員会のメンバーを5月号でお知らせしましたが、財務部長が交代になりましたのでお知らせします。

前・財務部長 関山

新・財務部長 石黒

(副委員長・典礼部長・財務部長兼任)

○『ゆるしの秘跡』

毎月第2日曜日の主日のミサ前、10:00〜10:45に行っております。新しい「ゆるしの秘跡手引き」がロビーと告解室に置かれています。ロビーにある物はご自由にお持ちになり、事前に手順をご確認ください。当日は告解室の前に並べてある椅子に順番に座ってお待ちください。飛

鳥神父様はミサ前の鎮まりの時間をとても大事にされています。10:40を過ぎても入室できないと思われたときには列に並ばず、次の機会をお待ちいただきますようご配慮ください。

○ベネズエラ地震の献金

カリタスジャパンより協力要請が来ています。7月19日、26日に献金箱を置きますので、ご協力をお願いします。

○教会設備資金のご協力をお願い
エレベーターのワイヤー交換や教会全体の照明のLED化のために営繕費が高め、教会の財政を圧迫しております。つきましては、聖堂に献金箱を設置しますので、皆様のご協力をお願いいたします。尚、教会費と共に教会修繕費を納めていらっしゃる方は不要です。

○みどり幼稚園のバザー

9月26日(土) みどり幼稚園のバザーが行われ、教会の2階も使用することです。ご興味ある方はおいでください。

○ベトナム語ミサについて

8月9日(日) 午後2:00〜ベトナム語のミサが始まります。(年内

は偶数月の第2日曜日)

第1日曜日の英語ミサと同様、午後まで残っていると車を出庫できなくなる恐れがありますので、ご配慮願います。

典礼部より

これまで主日のミサの中のアレルヤ唱は「アレルヤ」の部分は全員、そのほかの部分は聖歌隊が歌っていましたが、本日(7月19日)より全て全員で声を合わせて歌うことになりました。

広報部より

いつもおみや教会通信をご愛読くださり、ありがとうございます。現在おみや教会通信は平均120部印刷し、そのうち40部近くを教会に來られない方に郵送しております。一方で教会のホームページにも掲載し、どこにいても読むことができるようになっていきます。

年々郵送料が値上がりし、現在は1部送るのに110円(1年で「20部」)かかっています。また教会に置く紙版を印刷するのも経費がかなりかかっています。

これらは全て、皆様からの貴重な教会費から捻出しておりますが、高

齢化が進み、教会の財政も年々厳しくなってきました。

大変心苦しいことですが、今郵送してもらっているが足りない(ホームページで読むことができる、そもそも読まない)という方は郵送中止の依頼のご連絡をお願いします。

一方で最近教会に行けなくなり、ホームページも読むことができない方など、教会通信の郵送を必要としている方がいらしたためご連絡ください。皆様のご協力をお願いいたします。

カレーの会

皆さま いつも召し上がっていた下さりありがとうございます。お米、野菜、カレールー及び献金をいただき、重ねて御礼申し上げます。皆さまのお支えの下、楽しく何事もなく、無事に続けられていることに感謝しております。

8、9月はお休みです。10月から再開しますので、ご協力宜しくお願いします。

カレーの会 遠藤

『ゆるしの秘跡』について 毎月第2日曜日の主日のミサ前 10:00〜10:45

新しい「ゆるしの秘跡手引き」が告解室に置かれています。ロビーにもコピーが置いてありますので、ご自由にお持ちになり、事前に手順をご確認ください。当日は椅子を告解室の前に並べておきますので、順番にお座りください。飛鳥神父様はミサ前の鎮まりの時間をとても大事にされています。10:40を過ぎても入室できないと思われたときには列に並ばず、次の機会をお待ちいただきますようご配慮ください。

自主グループの紹介

初金ロザリオの会

病氣などつらい思いをしている方々がのために、みことばと共にロザリオ一環を捧げています

毎月第一金曜日 10:30～11:30

ぶどうの木

次の日曜日の福音を読み、心に響いたことを分かち合う。この集いの中で福音書の言葉を共に味わい、共に祈るという恵みを頂いている

毎週水曜日 10:30～12:00

読書会

キリスト教関係の本をゆっくり読み、感想を分かち合います。コロナ以降オンラインで行っています。

手話勉強会

障害者と交流することで、相互理解を深めます

ウエルカムグループ

ミサ後のお茶接待を通して信徒の親睦を図ります

不定期の土曜日 13:30～15:30

掃除グループ

清々しい気持ちで、御ミサに参加していただきたいという思いで、神様からいただいたタレントを生かし、それ

ぞれ気づいたことを楽しくお掃除しています。

金曜日 10:30～(月2回) 日曜日ミサ後

ガレット販売グループ

注文を受けてガレットを販売し、お預かりしたものを教会、その他に寄付しています

年間2回(夏・冬)

コルダの会(休会中)

キリシタンの遺物の保管と展示。北関東のキリシタン殉教者を顕彰し、会員相互の親睦と信仰を育む。

共に生きる会(休会中)

フィリピン、スラム(アライカプラ)の支援として現地の方の手作り品を販売

おむすびの会

大宮公園のホームレスの方たちにおむすび・食料品・衣類等を届ける

金曜日(第2・3・4) 8:00～11:00

カレーの会

災害支援と信徒のコミュニケーションの場を提供。カリタス・ジャパンに献金します

第2日曜日 10:00～14:00

年間購読誌「毎日のミサ」担当

「毎日のミサ」の教会一括購入。購入者に配布。小聖堂に配置。教会一括購入により、教会使用分・神父様使用分が賄われます。

偶数月ミサ前とミサ後

参加をご希望の方は受付にお問い合わせください

カトリック大宮教会では信徒委員会を中心に各部会によ

信徒委員会・地区部会

り活動を行っています。信徒委員会は毎月第2日曜日ミサ後に会長、副会長、書記のほか各部長が出席し、典礼や予算執行などについて協議を行っています。

信徒委員会・部会

会長

副会長

書記

典礼部

地区部

営繕部

広報部

青少年養成部

子ども会

青年会

成人養成部

総務部

財務部

地区部会

大宮区

見沼・緑区

北区

西・中央・桜区

岩槻区

上尾・伊奈地区

蓮田地区

久喜・白岡地区

† サモア～主に呼ばれて～ (49) †

陸上の校内大会がありました。これはサモア大会の代表選考も兼ねていたため、全員が自分で100mか200mのどちらかを選んで走りました。私はスターターとして、スタートの合図を担当しました。

大会は午前中いっぱいかかりました。乾季だったので天気はよく、気温もそれほど高くありませんでした。途中で水が飲みたいかと聞かれましたが、喉の渇きを感じていなかったため、いらないと答えました。これがよくありませんでした。

校内予選は無事に終わりましたが、夕食を済ませた頃から体がだるくなってきました。夜には熱っぽさを感じ、測ってみると38℃ほどありました。日本から持参した解熱鎮痛剤を飲んで寝ましたが、夜中に寒気で目が覚めました。熱を測ると、さらに上がっていました。再び薬を飲んで寝ましたが、朝になると薬が切れ、熱はどんどん上がって39℃を超えてしまいました。欠勤することを伝えてもらい、私は寝ているしかありませんでした。

薬を飲んで寝て、切れると目が覚める、その繰り返しでした。熱はその日のうちに40℃を超えました。最初は風邪かと思っていましたが、薬がまったく効かず、この先どうなるのだろうと不安になりました。このままサモアで死んでしまうのではないかと、もうろうとした意識の中で考えていました。

翌日も熱は40℃を超えたままでした。その次の日も同じように、寒気がすると薬を飲み、薬が効いている間は眠り、切れるとまた起きる、という状態が続きました。

4日目になっても熱は下がらず、このままでは治らないと思い、思い切って村のクリニックへ行きました。医師に症状を伝えると、すぐに点滴を受けました。脱水症状になっていたようです。

結局、今という熱中症でした。当時の言い方では日射病です。炎天下で1日中水分を取らなかったことが原因だったようです。喉の渇きを感じない時点で、すでに手遅れだったのです。点滴を2本ほどして、ようやく落ち着いてきました。

翌日にはほぼ治りました。熱中症の怖さを知ることになりました。熱は40℃を少し超えたところまでしか上がりませんでした。もし41℃を超えていたら本当に日本に帰ることができなかったかもしれません。

それ以来、体の防衛反応が働くのか、暑い日に直射日光に長い時間当たっていると、汗をすごくかき、水分を適切に取らないと熱中症になるようになってしまいました。ただ、水だけ飲んでいてもダメなようです。

職場で子供たちと山登りをした際、気を付けて水をたくさん飲んでいたので、山登りが終わり、宿舎に戻ったら、頭痛が激しくなり、意識ももうろうとしてしまいました。横になっ

て休んでいたのですが、教頭先生が心配して救急搬送されました。富士五湖の精進湖での移動教室だったので、近くに救急で診てもらえる病院がなく、河口湖の方まで搬送されました。

点滴を打ってもらい、深夜に戻りました。学校の子供が具合悪くなって、救急車で運ばれるならまだしも、先生が運ばれるのは困ったものですね。

保健体育の先生曰く、電解質脱水という症状だったようです。汗をたくさんかいたのに、水しか飲まなかったせいで、体の中のミネラル分が出てしまっていたのに、補充されなかったからだそうです。

それ以降も、何回か同じような状態になり、自分でも「これではいかん！」と対策をしっかりと立てるようになりました。のどが渇く前に水分を取る、少しでも体がだるかったり、頭痛がしたりしたら、熱中症を疑う。

「水を飲んでいいるから大丈夫！」ではないです。塩分や砂糖などもと、体の中のミネラル分も補給するようにしてください。これから暑い季節になります。ご自分なりの熱中症対策を考えて、夏を乗り切ってください。

熱中症で亡くなった人のニュースが出るたびに、サモアのことを思い出して本当にぞっとします。まだ、30歳くらいだったので乗り切れたと思います。

見沼区 齋藤

